

Press Release

報道関係者各位



2020年3月23日

ジー・ブーン株式会社

自分の夢を応援する社内制度「ジャパンエキスポタイランド研修」 アジア最大ジャパンカルチャーの祭典に出展 イベントを通して、国際ビジネス感覚や異文化コミュニケーション力を養う 2020年1月31日(金)～2月1日(日)

ITサービス事業を運営するジー・ブーン株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役:後藤稔行)は、数々の社員の夢を応援する社内制度があります。その1つとして、毎年タイ・バンコクで開催されるアジア最大のジャパンカルチャーの祭典「ジャパンエキスポタイランド」に出展し、国際ビジネスの感覚や、異文化コミュニケーション力を養う研修を行っています。本年度は2020年1月31日(金)～2月1日(日)の3日間、行いました。



■ ジャパンエキスポタイランド研修の目的

本イベントは、2015年の初出展から毎年日タイ合同で行われる当社の社内研修です。本年度は、日本の東京スタッフ13名、タイスタッフ17名、タイパートナー企業5名、現地臨時スタッフ5名、現地ダンサー7名、現地MC1名と総勢約50名の運用規模で行いました。

当社代表の後藤がプロジェクトリーダーとして執り行う本件に費やす期間は、準備から期間中の運営まで約3週間、他業務と並行しながら進めていきます。また、タイへ渡航する東京スタッフの費用は、同人数を現地スタッフで賄った場合は10分の1程度で済みます。

しかしあえてこれだけの費用を投入するのは、当社の理念である会社の夢と自分の夢を双方叶えるドリーム社員の成長促進を目的としています。また、東京スタッフがジャパンエキスポタイランドをリアルに体験することにより、タイにおける事業を具体的に知ることで、当社の30年計画であるアジア戦略の基礎となる国際ビジネス感覚や異文化コミュニケーション、そしてタイでの主力事業であるフォトスタジオ「姫と侍」のビジネス感覚をつかむことも目的です。



■フォトスタジオの予約と和雑貨の販売促進を図り、国際ビジネス感覚を養う

本年度の当社の出展ブースは、さらにスペースを拡大し、コンテンツも多数取り揃えました。2016年にオープンしたフォトスタジオ「姫と侍」は、ハイコスプレスタジオとして、バンコクNo.1の知名度を誇るまでに成長したことから、ブースでは人気の「花魁衣装」はじめ「狐の嫁入り姿」や、「雪女」、そして新作の「桜姫」に社員が扮し、フォトスタジオの魅力を海外のお客様に身近に感じていただけるように興味付けを行いました。

また、当社が運営しているギフトショップ「WAZAKKA」もリニューアルしたことから、様々な雑貨小物を陳列し、実際に手に取ってもらえるように工夫をしました。既に何回も出展経験のあるベテラン社員から、今年が初参加の新米ドリーム社員まで、各々が海外のお客様を相手にアプローチや商品・サービスへの興味付け、そして契約に結び付けるまでのプロセスを、3日間の研修を通して学びました。

尚、屋内ステージでは、開催期間中、タイのダンサーによる「戦国武将」や、新作「桜姫」のお披露目ミニステージを繰り広げ、タイの人々にハイクオリティな和文化を満喫していただけるよう盛りだくさんの企画を開催しました。



■研修を通して学んだこと



平戸 勝馬

私にとって、ジャパンエキスポタイランド研修は初めての海外経験であり、たくさんの刺激と学びがありました。今回の研修で私が今まで見ていた世界はほんの一部だったことを思い知らされました。海を越えれば文化や生活は異なる空間がある、そんな当たり前のことを初めて実感しました。これを機に海外で仕事をするってどんな感じなのだろうかと見方も変わり、そういう意味では、何も日本にこだわる必要もないのかなと思いました。今後ビジネスや遊びの中で選択肢が増えたことは大きな収穫となりました。



鵜飼 厚志

今回で3回目のジャパンエキスポタイランド研修でしたが、以前と違うなと感じたのは、侍と忍者に対する反応が薄くなったことです。ジャパンエキスポも回数を踏むごとに、似たようなコンテンツが増えて、目新しさが無くなったことも関係していると感じました。しかし、代表の後藤から立ち位置の指示を受けて、忍者、侍、花魁、雪女とバラバラなキャラクターを1つに集結させたことで相乗効果が出て、お客さんが一気に集まる大盛況な写真大会となったことから、チームプレイの大切さを再認識しました。新型コロナウイルスの影響で集客も例年と比べて少ない中、予定通り全員参加し、昨年よりも好成績を残すところがジュー・ブーンらしいと感じました。



桜井 祐太

今回のジャパンエキスポタイランドは、日本から持ってきた駄菓子が意外にも海外の方に好評だったり、例年よりもファミリー層が多かったりと、毎年参加していながら、変化があることを感じ取りました。会期2日目、フォトの予約がなかなか伸びずにいたのですが、急遽、代表の指示で客層に合わせたファミリー層やキッズ向けの写真案を追加したところ、予約が伸びたことは新たな発見でした。

今後は、与えられたものをこなすだけでなく、集客の状況や分析をすることまで実践したいと感じました。

■研修概要

- 名称： ジャパンエキスポタイランド研修
 時期： 2020年1月31日(金)～2月1日(日)
 目的： 当社の理念である「会社の夢と自分の夢を双方叶える」ためのドリーム社員の成長促進
 内容： 出展ブースにて、当社運営のフォトスタジオ「姫と侍」とギフトショップ「WAZAKKA」の認知促進。
 東京スタッフは、フォトスタジオの予約件数と和雑貨の販売促進を通して、国際ビジネス感覚を養う。
 効果： ・東京スタッフがジャパンエキスポタイランド出展をリアルに体験をすることにより、タイにおける事業を具体的に知ることができる。
 ・海外の人に、アプローチから商品への興味付け、契約に結び付けるまでのプロセスを経験することにより、国際ビジネス感覚や異文化コミュニケーションを身につける。



当社は、今後も夢とビジネスの融合を軸とし、夢を叶えるために必要なモノやサービスの提供を、社内外に積極的に取り組んでいきます

■ジャパンエキスポタイランド2020

タイの首都バンコクにて行われているJAPAN EXPO THAILANDは、2020年で第6回目を迎えました。JAPAN EXPO THAILANDでは、あらゆる世代も、また現地タイ人から海外からの観光客までもが、バンコクにいながら日本の文化、教育、グルメ、音楽、アニメ、マンガ、ファッション、伝統文化、旅行・観光など、オールジャパンを楽しむことのできる3日間で約50万人動員というアジア最大かつ歴史ある祭典として人気を博しております。JAPAN EXPO THAILANDの前身イベントとして15年目を迎えるポップカルチャーを中心としたイベントJapan Festa in Bangkokは併催され、若い世代を中心に参加者も毎年増加傾向にあります

アジア各地域を狙った戦略的なビジネス展開を狙っている企業にとって、アジアの中心に位置するタイは、急速に成長するアジア経済市場への大きな門戸となっています。また成長するアジア経済、世界クラスのインフラストラクチャー、競争力のある人的資本および強力な政府支援は、アジアの中でも比較的恵まれた環境下にあります。タイ投資委員会(BOI Thailand)によると、タイは過去6年間で外国直接投資(FDI)の流入率が21%増加し、世界全体の0.7%に達したことを実証しました。またタイは、アジアで最も有望なホスト国である国第4位にランクインしたため、さまざまなグローバルな多国籍企業(MNE)の第2のホスト先としての確固たる地位を獲得しています。2015年に自由貿易を促進する単一の市場としてASEANが ASEAN経済共同体(AEC)を設立したことで、地域内のサービス、投資、資本、熟練労働者の自由な流れ、さらなる進展と拡大に伴い、タイはASEANの新たな経済の中心になる事を期待されている国です。

※ ジャパンエキスポタイランド2018公式サイトより引用

■会社概要

社名 ジー・ブーン株式会社
英文社名 ZEEBOON Co., Ltd.
代表取締役 後藤稔行(ごとうとしゆき)
本社所在地 東京都千代田区神田須田町2-19 野村第3ビル 6F
 TEL 03-5207-8180 FAX 03-5207-8189
ホームページ <http://www.zeeboon.co.jp/>
設立 2006年7月7日
資本金 4,180万円
事業内容 IT支援事業
 タイビジネス支援事業
 貸し会議室運営
 教育セミナー事業

■スーパーフォトスタジオ「姫と侍」各種SNS

facebook <https://www.facebook.com/himeandsamurai>
instagram <https://www.instagram.com/himeandsamurai/>
YouTube https://www.youtube.com/channel/UCUy_nIEjxyvH311AT64ojwQ/videos

※当社は、企業と社員、双方の夢実現の為に働く2ゴール達成企業「ドリーム企業(※商標登録第5592966号)」並びに「ドリームマネージメント(※商標登録第5539813号)」を目指しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

ジー・ブーン株式会社
広報担当: 田村/桜井
電話: 03-5207-8180 E-mail: pr@zeeboon.co.jp